



学校だより

かけ橋

パート III

横須賀市立汐入小学校 校長室

2013. 12. 10

No. 18

元気でやりぬく子
すすんで学ぶ子
思いやりのある子

学力向上シンポジウム

10月25日（金）に、横須賀市学力向上シンポジウムが開催されました。毎年行われていて、今年で3回目になります。今年は、日程的に運動会の前日になっていたのですが、教員は参加できませんでしたが、PTAの役員さんに出席していただきました。

出席された方から、以下のような具体的な感想も聞かせていただきました。ありがとうございました。

「今の学力は、以前のように暗記中心ではなく、自分が必要とされる感覚や自分から学ぼうとする意識が大切なのだとわかりました。」

「子どもの学びへの気づきは、日常から生まれる、何でだろう？ どうしてだろう？ という感性を大切にすることが必要だと思いました。」

「家庭学習で、自分から学ぶのは大切だが、勉強している時に、励ましてくれたり、困ったことを聞いてくれたりする人がそばにいることが大切だと学びました。秋田県などは、核家族でなく、大家族で生活している家庭が多いので、平均点が良かったのではないかと思います。」

「計算ドリルなどのドリル的な家庭学習だけでなく、空白のノートに自分なりの学習を書く家庭学習が、思考力を育てる意味で有効だと教えられました。我が子にさっそくやらせてみました。」

「地域の方も重要。汐入は、地域の教育力が充実しているので、それを活用しようとする親の意識を上げていきたいと思いました。そのために、PTAの活動も積極的に多くの人に関わって欲しいと感じました。」

シンポジウムの中で、「10の提言の具現化」ということが言われていたそうです。昨年度



度の横須賀市学力向上推進プロジェクト協議会がまとめたものです。学校に対して6つ、家庭と地域に対してそれぞれ2つずつ示されています。

本校としても、今後とも学校・家庭・地域が連携しながら、汐っ子の学力の向上につなげていきたいと思っています。

11月30日に行われたイベントに、1・2年生が参加しました。サリバンスクールとジョイントコンサートを行いました。こういった活動も家庭と地域を結ぶ大切な活動です。このイベントは、近隣校を順番に回っています。昨年度は、豊島小が出場しました。

児童ボール大会

毎年行われている児童ボール大会が、12月4日（水）に行われました。6年生が、桜小学校と坂本中学校のグラウンドでサッカーとバスケットボールの試合を行います。汐入小、桜小、沢山小、逸見小の4校が集まりました。

本校の6年生は、この日のために、体育の授業などで、練習を重ねてきました。また、先生チームと練習試合をやったり、5年生と対戦したりもしました。

その結果、最初にやったバスケットボールでは、30対6、サッカーでは、11対0で



なくても何とかなる」などとは言ってはられません。一人ひとりが、「自分のできることをしっかりやらなくては」という気持ちになっていると感じました。

試合だけでなく、開会の言葉を言った子、開会式と閉会式で児童代表の言葉を言った子3人ともメモを見ないで、自分の言葉で話



大勝しました。しかし、汐っ子のえらいところは、試合後に「あまり喜びすぎない方がいいよね。」と、相手チームへの配慮を見せたところでした。

また、試合中も「コートにはいるけど、参加せず。」という子は、一人もいませんでした。コートの外からも、応援の声を出していました。正に「チーム一丸となって」という言葉がぴったりだと思いました。常に、フェアプレーを心がけていました。

少人数のためか、「私一人くらいい



すことができていました。とても緊張する中、立派だったと思います。

ボール大会が終わって、担任が子どもたちにふり返りを書かせました。それを読むと、自分のことだけでなく、周りの友だちのことも良く見ていると感心しました。ご家庭に持ち帰ると思いますので、6年生の保護者の方はぜひお読みいただき、子どものがんばりをほめてあげてください。